

# SPiRiT

スピリット

Shimane Physical Therapy

Vol.04 2023.01



## Contents

---

- 各領域に特化した  
“専門領域部会”が設置されます
- 学会報告とお知らせ
- スペシャル会員紹介
- 「サポーター会員」制度について
- 地域ケア会議/  
介護予防推進リーダー・  
フレイル対策マネジャーを  
取得しませんか？
- 島根県理学療法士会  
設立50周年・法人化10周年  
記念式典開催

発行元：



一般社団法人

島根県理学療法士会

Shimane Physical Therapy Association

# 各領域に特化した “専門領域部会”が設置されます

## 専門領域部会とは？

2023年4月に島根県理学療法士会に専門領域部会が設置されます。これまで島根県理学療法士会では職能活動と学術活動を両輪としながら士会活動を実施していました。近年では理学療法士の活躍する領域が拡大し、日本理学療法士協会の生涯学習制度の発展にともない、県内にも多くの認定理学療法士が誕生しています。

一方で、こうした専門領域の理学療法士の活動をより発展させることを想定した部局は一部の領域を除き島根県士会として準備はしてきていませんでした。このような中、組織再編に合わせてより発展的な理学療法士の活動を展開するとともに地域住民に貢献することを目的に専門領域部会の設置構想が検討されいよいよ活動が開始されることとなりました。

専門領域部会の活動を通じて県士会の「あなたの“大切”を彩る」というミッションを達成していくために、より高い専門性にキャリアアップを検討している理学療法士の活躍のステージを提供します。特にこの部会では後述の“運営幹事”に多くの意思決定をお任せし自由な活動を展開して頂きます。

## 専門領域部会の活動について

活動は各専門領域を運営する“運営幹事”と県士会理事会によって検討していきますが、多くの県士会員に還元できる必須の活動と、任意の活動に分けて展開して頂きます。

特に任意の活動についてはアイデアを活かした自由度の高い活動を想定していますので士会の皆さんの積極的なご参加をお待ちしています。

### 活動の内容 専門領域部会では運営幹事の主体性に基づき活動を展開いただきます

- ①**必須の活動**
  - 部会主催の定期的な研修会（勉強会）：ポイント・点数認証されるもの
  - メールマガジンへの学術情報の発信（年6回程度）
  - 県士会活動への一部協力（学会審議委員会・理事会出席等）
  - 島根県における当該領域の課題解決にむけた議論等
- ②**任意の活動**
  - 専門領域部会によって企画された事業  
例）外部講師を招いた研修会、症例検討会、研究会など
- ③**大事なこと**
  - 必須事項はベースにしながら運営メンバーによる主体的な活動を支援することを主とします

## メンバーのアイデア次第で広がる活動

### 勉強会

専門領域で自分たちが勉強したいことなどについて定期的に勉強会を開催したり、ミーティングなどを実施する。

### コミュニティ創出

プロフェッショナル同士が意見交換ができるクローズドSNSを設置したり、メーリングリストなどを使いながら専門家のコミュニティを創出する。交流会も面白そうです。

### 臨床の効率化事業

メンバーの医療機関の各種評価表などを持ち寄りながらブラッシュアップしたり、良い所を集めて共通評価表を作成する。また、資金を集めて評価ブックなどを作成するなどの活動。多くの機関の助けになりそうです。

### 共同研究

単一施設では進みにくい研究を複数のメンバーと協力しながら進めていく体制の構築に取り組む。こういった取り組みは士会の研究支援部のメンター制度等でも強力にバックアップします。

### 外部講師の招聘

日本、世界のトップランナーを招き自分たちの研鑽に活用する。部会独自で検討できるので、自分たちのニーズにマッチした講師を招聘可能に。なんなら講師料ワリカンでも面白い研修会ができるかも。

### 政策提言

ちょっとチャンクが大きくなりますが、患者さん、利用者の困ったことを行政に届ける事も仲間がいれば可能です。士会に政治参加部隊を設置予定ですので共同しながら誰かの幸せに貢献できるかも。

## 専門領域部会に参加するには？

参加するには2つの方法があります。

### 1. 運営幹事になる 2. 専門領域部会にメンバー（部会員）として所属する

専門領域部会を運営する運営幹事としてハイレベルな活動に加わる事ができますが、運営幹事となるには所定の基準を満たし、理事会にて運営幹事として承認され士会長に任命されることが必要です。一方、専門領域部会にメンバーとして所属することは“なんの制約もありません”。会員であれば、新入職の方でも生涯学習プログラムが終了していなくても参加OKで、いくつの領域に所属していただいても構いません。また、メンバーにならなくても公募されている研修会には参加することも可能です。

運営幹事の応募基準は下表の通りです。

2023年～2027年の5年間は新設の経過期間という事で任用期間を一部緩和しています(学会発表など)。詳しくは巻末のお問い合わせまで遠慮無くお問い合わせください。

#### 運営幹事の基準

**必須条件** 認定理学療法士もしくは専門理学療法士であること

**選択条件** (2項目以上)

- A：ブロック学会以上で当該領域における2回以上の発表経験を有する（理学療法士関連の学会以外を含む。過去10年以内のものに限る。）
- B：当該領域における査読付き学術論文を有すること（邦文・欧文を問わない）
- C：修士以上の学位を有すること（修了領域は問わない）
- D：当該領域における団体の現職の役員・委員であること（学会等）
- E：現場において当該領域をリードする職務を有すること（部門リーダー等）

## 2023年度に設置予定の専門領域部会

2023年度には以下の専門領域部会が開設される予定です。 ●神経 ●内部障害

また2022年度の運営幹事公募にてその他の領域についても運営幹事として認定された方が多数いらっしゃいますのでぜひ立ち上げに向けて県士会も支援を進めて参ります。

#### 【運営幹事認定者一覧】

氏名	現在の所属	領域	理事会審査結果
錦織 航	島根大学医学部附属病院	運動器（運動器・スポーツ）	運営幹事（暫定）*要件認定者
藤丘 政明	島根県立中央病院	教育管理（理学療法教育）	運営幹事*要件認定者
田中 和喜	島根大学医学部附属病院	神経（神経・小児）	運営幹事（暫定）
福島 卓	松江総合医療専門学校	神経（神経・小児）	運営幹事（暫定）
錦織 和樹	島根県立中央病院	神経（神経・小児）	運営幹事（暫定）
佐々木翔太	島根大学医学部附属病院	神経（神経・小児）	運営幹事
神田 一路	出雲市民リハビリテーション病院	神経（神経・小児）	運営幹事（暫定）
小村 康平	株式会社 Canvas	生活環境支援（地域・予防・支援工学）	運営幹事（暫定）*要件認定者
青木 徹	寿生苑	生活環境支援（地域・予防・支援工学）	運営幹事*要件認定者
原 祐樹	島根大学医学部附属病院	内部障害（心血管・呼吸・糖尿病）	運営幹事
須山 竜二	松江赤十字病院	内部障害（心血管・呼吸・糖尿病）	運営幹事
今岡 圭	島根大学医学部附属病院	内部障害（心血管・呼吸・糖尿病）	運営幹事

知識と技術を最大化できる。プロフェッショナルとしての誇りをもつことができる。そして、その力が地域を支えていく。仲間と一緒に、地域を、日本をリードするアイデアを島根から。

専門的理学療法の可能性にチャレンジできる組織がいよいよ動きだします。会員諸氏の皆様のご参加をお待ちしています。

<本件お問い合わせ先>

専門領域部会設置プロジェクト リーダー 江草典政（副会長：学術局長） egusa@med.shimane-u.ac.jp

# 学会報告とお知らせ

閉会のご報告

第19回島根県理学療法士学会

あなたの“大切”を彩る

こころね訪問看護ステーション春日町  
学会長 大森貴志 先生



受賞者の皆さま、おめでとうございます。

## 受賞者（一般演題発表）

- ・最優秀賞：佐藤 慎也（島根大学医学部附属病院）：写真中央
- ・学会長賞：川本 晃平（島根大学医学部附属病院）：写真左
- ・グリーンアカデミー賞：井上 魁（島根県立中央病院）：写真右

第19回島根県理学療法士学会は中国ブロック理学療法士学会が島根県主催で開催されたこと、さらにはCOVID-19の感染拡大による影響により延期を強いられたこともあり、第18回の学会から2年ぶりの開催となりました。第19回は大森貴志学会長（こころね訪問看護ステーション春日町）とハイブリッド開催・オンデマンド配信など大きな挑戦をした学会でした。311名（島根県：153名、県外158名）、市民公開講座64名と非常に多くの方々に参加をさせていただいたことは本当に嬉しく思います。島根県理学療法士会としても対面による事業の開催は久しぶりでしたので、会場内で「久しぶり、元気してた？」などの会話が飛び交っており、改めて人と人との繋がり的重要性を感じた学会でもありました。

学会テーマは島根県理学療法士会のミッション「あなたの“大切”を彩る」です。誰かのために一生懸命働く皆さんが大切にしている思いを彩ることができたでしょうか。島根県理学療法士学会は皆さんの心の炎を燃やし続ける薪でありたいと思っています。これからも共に学びんでいきましょう。

この場をお借りして、第19回島根県理学療法士学会に関わってくださった皆さまに感謝を申し上げます。

文責：学会運営部 部長 野口瑛一

開催の  
お知らせ

## 第20回島根県理学療法士学会

# 『ともに育む』

～これまでと、  
これからの理学療法と私たち～

えだクリニック  
学会長 高見由美 先生



学会 HP



学会 Twitter



皆様のご参加、運営スタッフ一同、心よりお待ちしております。

**2023年5月20日(土) - 21日(日)**

第20回島根県理学療法士学会は高見由美（えだクリニック）と共に「ともに育む～これまでと、これからの理学療法と私たち～」をテーマに2023年5月20日・21日に開催されます。

皆さんは学会テーマからどんなことをイメージしましたか？理学療法士は医療介護領域だけでなく、ヘルスケア、介護予防、スポーツ分野などこれまで様々な領域に挑戦し、活躍してきました。しかし、地域支援体制構築の中で多職種と共働が必要な分野への進出は現状、十分とは言えません。皆さんは、これまでの理学療法士の歩みに何を感じ、これからの理学療法士の挑戦に何を想像しますか？高見学会長の思いは学会HPの学会長挨拶にこめられていますので、ぜひ読んでみてください。

現在もご講演いただく講師の方々と詳細は調整中ですが、終末期、小児領域、キャリアなどの講演企画を行う予定です。より良い未来を共に創るために、島根県理学療法士学会を通して共に学びましょう。島根県の暮らしを、理学療法士の未来をともに育みましょう。

今回もハイブリッド開催・オンデマンド配信を予定しています。遠方などで現地参加が難しい方、子育て世代の方と共に学び、共に歩み続けることが出来る環境をご用意しています。皆様のご参加、心よりお待ちしております。

文責：学会運営部 部長 野口瑛一

# スペシャル会員紹介

ふく だ      じゅん  
**福田 淳 先生**

サインポスト合同会社  
デイサービスサイン



## ■役員歴：協会士会関係

2007年度～2012年度 学会部部长

2013年度～2018年度 学術局理事

2017年度～2018年度 副会長

島根県理学療法士会には臨床・研究の他に、協会活動・教育活動・地域活動などにも精力的に尽力されている会員が数多く在籍しています。そのような会員をスペシャル会員として紹介します。第4回は福田 淳先生です。

## 01 県士会活動に携わるようになられたきっかけや 現在までの活動を教えてください

きっかけは、小川会長に出会ってしまったからでしょうか（笑）卒業すぐに就職した病院には、数ヶ月後の病院移転後の要員として採用されたこともあり、近隣病院へ長期研修に行かせてもらいました。その研修先におられたのが小川県士会長。当時は教育部部長でおられ、いつの間にかお手伝いするようになっていたと思います。その時はPTが爆増する前でしたから少ない人数の中で必然的なことだったかもしれません。活動の中身というのは、ほぼ覚えていません（笑）が、刺激に満ちて楽しかったことは覚えています。同期を部に誘い、定期的集まって作業をしながら近況を話したり、研修会を運営する中で先輩会員の方と知り合えたりすることでPT＝社会が広がっていく感覚でした。しかし数年で小川会長はどこかへ旅立たれ（笑）、いつの間にか部長をすることになっていました。20代半ばでの部長誕生です（笑）今考えても恐ろしい人選です。私の血となり肉となっている【yes か、はい】の精神で断る選択肢はありませんでしたが。こうなれば前に走るしかありません。協力してくれる仲間を集い教育部から学会部を創設。いつも学会の企画を考え、会員の求めるものは何か？と向き合い、新しいことにチャレンジしていたように思います。

## 02 仕事をする上で、大事にしていることを教えてください また、やりがいに感じることを教えてください

大事にしていること、、、ありすぎます（笑）特に大事にしていることは内緒にしておきますが、そこそこ大事にしていることは、【出来るだけ新しいことを探す】ことです。仕事にも慣れていくと大体おんなじ毎日の繰り返しになりませんか？安定とも言えますし悪いわけじゃないですけど、小さいため息つきたくなりませんか？それなら小さいことでも良いから新しいことを見つけて、仕事に結びつけて、チャレンジしていくんです。しかも、出来るだけ前例がないことや自分や周囲がやり方を全く知らないことなら尚更進んでやるようにしています。方法やルールがないなら、なんでもアリです（そんな簡単なことではないけど）。それによって刺激的な日々が増え、気づきも増え、自分が成長していく。仕事には結果も大切ですが、プロセスは同等に大切に、それによって価値が決まると思っています。だからプロセスは人道的でないダメですね。やりがいはこのような中にたくさんあります。努力を重ねるほど、不自由が多いほどやりがいは感じるものだと思います。



## 03 仕事とプライベートのバランスのとり方や、 息抜きの仕方などで工夫していることがあれば教えてください

私は普段、デイサービスのマネジャーとして勤務していますので、利用者様宅へ謝罪に伺ったり、苦情を聞いたり、スタッフに言いにくいことを言う立場でもあるので、それなりにストレスの溜まる仕事かなと思っています。そのため、趣味とルーティンでバランスをとっているんじゃないかと思っています。趣味は週に何回かできるものや月に数回できるものがありますが、定期的にできるとストレスを溜めすぎる前に消化できますね。ルーティンはセロトニンが出るような行動やコルチゾールを抑えるような行動をルーティン化しています。早寝早起き、健康的な食事管理、適度な運動、これを無理なく出来るリズムを作れば自然とストレスは溜まりにくいです。仕事やプライベートを自分でコントロールできる部分を増やすことでバランスをとったり、息抜きできるのではないのでしょうか。

なんか当たり前すぎて面白くないですね（笑）。



## 04 若い会員へのメッセージをお願いします

こういうタイトルだと『人生のアドバイス』みたいで、偉そうに言う感じになっちゃいますが、若い皆さん、この手の話は出来るだけ聞かないようにしてください！私の話も含めて（竹原ピストル風）。特に50代以降の話は聞かなくても良いんじゃないのでしょうか？人生のアドバイスみたいなものは、時代が違えばアドバイスにならないし、環境も違えば尚更です。あなたのことをよく知っていて、時代の流れも加味して話してくれる師匠のような方の話はありがたく聞いたほうが良いと思いますが、それ以外はあまり役に立たないと思います。『俺の時代は～、、、』などと語りかけてくる場面に出くわしたら、しっかり聞き流して（笑）、そういう考えなんだあ、、と相手の理解に努めましょう。何をどう成すか？理学療法士という資格を背負って何を果たすか？は、自分の試行錯誤と努力によって生まれるものだと思います。



# 「サポーター会員」制度について

島根県理学療法士会では昨年度よりミッションスローガンに「あなたの“大切”を彩る」を掲げ、10年ビジョンとして・組織力を高める・共に学ぶ、みんなで学ぶ・地域と生きる・発信力を高める・ワクワクを創造するを掲げ、活動を進めています。

その中でも「組織力を高める」ために会員が“参加したい”と思える組織作りへの取り組みを進めています。今までの島根県理学療法士会の組織は理事・部長・部員での構成となっていました。新しく「サポーター会員」制度を加え人材育成、県士会の部・局の枠を越えた人材バンクを構築する取り組みを始めました。これは、**島根県理学療法士会独自の取り組み**となっており、自身のキャリアに応じた広い協力体制を構築し、県士会として総合力を上げることを目指しています。そして理学療法士としての経験年数は関係なく生涯にわたって自分自身の活動が行える仕組みとなっています。今年度より本格的に事業へ参画しており、10月末現在、サポーター会員登録者数 **139名**の方が登録されています。

## 「サポーター会員」とは

「サポーター会員」は、県士会員の興味、関心、強みを集約し単年度更新制を取り入れた組織です。

公募により選任し、役割としては各事業の当日スタッフ、派遣事業等、各部局に横断的に関わっていただきます。

報酬は原則、県士会からの日当・旅費支給はありません（但し、事業によっては依頼元からの報酬があります。）日当・旅費支給はありませんが、**自分の可能性へチャレンジすることに対するインセンティブを設けています。**

## メリット

- 単年度更新とするため、無理なく県士会事業へ参加できます。
- キャリアのタイミングで自由に離れることも復帰することも可能です。
- ご自身で参加・協力範囲を予め設定する事により県士会員に“チャンス”が広がります。

## インセンティブ

**常時 1,000円割引で県士会研修会等へ参加可能** ※飲食のある懇親会、理学療法士講習会を除く

### 「サポーター会員」、「部員」、「部長」、「理事」の違い

サポーター 会 員	1. 選任方法：公募 2. 任期：単年更新制 3. 役割：各事業の当日スタッフ、派遣事業等、各部局に横断的に関わる。 4. 報酬：原則、士会からの日当・旅費支給なし。但し、事業によっては依頼元からの報酬あり。 5. インセンティブ：常時 1,000円割引で士会研修会等へ参加可能 ※飲食のある懇親会、理学療法士講習会を除く
部 員	1. 選任方法：公募 2. 任期：年度ごとに継続確認、任期の定めなし 3. 役割：年度を通して、部の事業運営・企画立案に関わる。 4. 報酬：規定に則り日当・旅費の支給あり。
部 長	1. 選任方法：公募（要理事会承認） 2. 任期：2年 3. 役割：理事会の方針に沿って各部の運営を行う。適宜理事会への報告。 4. 報酬：規定に則り日当・旅費の支給あり。
理 事	1. 選任方法：選挙 2. 任期：2年 3. 役割：理事会の構成。理事会における審議・承認 4. 報酬：規定に則り日当・旅費の支給あり。



## 「サポーター会員」対象事業

高野連サポート・医科学サポート・学会スタッフ・士会主催の研修会スタッフ・施設への介護技術指導（県社協からの依頼）・その他の講師（他団体からの）

令和4年度より本格的に対象事業に関わっていただいています。今年度サポーター会員が参加した事業としては、高野連サポート、医科学サポート、第19回島根県理学療法士学会、しまねレクリエーションフェスティバル、医・科学カウンセリング事業、ドライバーのための腰痛予防対策講師など多岐にわたり関わっていただいています。

## 実際にサポーター会員として参加された方の感想

### 学会参加者

- 私は他部局に所属しているため、他の部の活動に参加できて良い経験となりました。学会の裏側を経験することで、違う視点から楽しむことができました。
- 学会当日の会場準備・片付け、受付やマイク対応を行いました。全てが初めての経験でしたが、学会運営部の皆さんが優しくサポートしてくださいました。また、学会運営部の皆さんと学会の成功という大きな感動を共有できました。サポーター会員としての活動は、新たなつながりもでき、非常にやりがいのある活動です。皆さんも“あなたの大切を彩る”お手伝いをしてみませんか？

### 医科学サポート参加者

- 理学療法士になったきっかけでもあった「スポーツ分野で関わってみたい」という思いをなかなか実現させることができないまま数年経ちました。なかなか関わるタイミングがなかったのですが、このサポーター会員制度を活用し「ビジター」<sup>\*1</sup>から参加することで無理なく少しずつ関わる事ができています。以前から参加されている方々から色々なことも学ぶこともでき、病院勤務の臨床とはまた違った楽しさを知ることができました。

※1 医科学サポート事業介入者分類

リンク→ [https://www.spta.jp/to-students-new-graduates/shikai\\_faq](https://www.spta.jp/to-students-new-graduates/shikai_faq)

ぜひ皆さんも「サポーター会員」登録をして、  
自分への可能性にチャレンジしてみてください!!  
そして、島根県理学療法士会所属で良かったと思える活動につなげてください。

「サポーター会員」登録



文責：島根県理学療法士会 人材管理部 部長 森山智博

# 地域ケア会議 / 介護予防推進リーダー・ フレイル対策マネジャーを取得しませんか？

## 地域で更に必要とされる理学療法士を目指して

地域住民が住み慣れた地域で、自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう地域包括ケアシステムの構築が進められています。日本理学療法士協会では、『地域包括ケアシステム』を推進するにあたって、地域ケア会議・介護予防の2つの施策に重点を置き、人材育成制度として、「地域ケア会議推進リーダー」「介護予防推進リーダー」の2つの認証コースを設定しています。2020年からは、高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施を円滑に推進できるよう、フレイル対策マネジャーの育成も行っています。

平成27年に地域支援事業の中に地域リハビリテーション活動支援事業が新たに創設されました。これは、地域ケア会議や介護予防・フレイル対策の分野で理学療法士に対する社会からの期待の表れの一つです。推進リーダーは登録理学療法士を取得されている方はどなたでも取得が可能です。更に地域で必要とされる専門職であり続けられるよう取得をオススメします。

## 推進リーダー・フレイル対策マネジャーはどうやって取得するの？

### ■推進リーダーの取得方法：

登録理学療法士取得▶推進リーダーeラーニング受講▶推進リーダー導入研修受講▶指定事業参加（指定事業は必ずしも導入研修の後でなくても構いません。）

### ■フレイル対策マネジャーの取得方法：

両推進リーダー取得▶フレイル予防人材育成プログラム\_eラーニング受講

※更に詳しく知りたい方は、日本理学療法士協会ホームページ→会員限定コンテンツ→職能事業→協会指定職能研修会→地域包括ケアシステムに関する推進リーダー制度をご覧ください。

## 推進リーダー・フレイル対策マネジャーを取得することでどんなことが学べるの？

制度や基礎知識を体系的に学ぶことができます。理学療法士の養成過程では学習できなかった地域ケア会議・介護予防・フレイル対策について制度や基本を体系的に学ぶことができます。これらは経験的に学ぶこともできますが、ポイントやこれまでの流れを踏まえた学習は重要です。

## 推進リーダー・フレイル対策マネジャーを取得後はどう活用するの？

資格取得後は、地域での実践へ繋げることが重要だと考えています。興味があってもなかなか実践に繋げることができない、どうやって地域に出たらいいかわからない、という声を聞くことがあります。島根県理学療法士会ではブロック局ブロック部の中で推進リーダー導入研修・スキルアップ研修・フォローアップ研修を実施しています。スキルアップ研修では地域における実際の通いの場に出かけ、参加者の声や実際の空気に触れることができますし、フォローアップ研修では先進地での取り組みや理学療法士以外からの専門職や団体から私たちへの期待を学ぶことができます。また、島根県理学療法士会ではサポーター会員制度を設置しています。ブロック部の活動やサポーター会員制度を活用して行政や地域からの依頼や職能団体としての社会貢献活動を通して実践に繋げることができます。推進リーダー・フレイル対策マネジャーはこういった実践の第一歩であると言えます。

ここからは実際に推進リーダーを取得後、地域で中心となって日々実践されている2人の推進リーダーをご紹介します。

文責：島根県理学療法士会 ブロック局 嘉田将典（飯南町保健福祉課 地域包括支援センター）

所属：訪問看護ステーションありがとう

島根県理学療法士会東部ブロック 地域支援グループリーダー

地域ケア会議推進リーダー **濱田 龍** 氏

島根県理学療法士会では、地域ケア会議への助言者の選出基準の1つにこの推進リーダーの取得をあげており、推進リーダー取得が地域ケア会議に参加するためのはじめの1歩となっております。私自身も始めは会議に助言者として参加することから始まりましたが、日々関わらせていただく中で、運営や他の助言者とのネットワークが出来、会議以外の場で相談を受けるなど、日々のつながりもひろがったように感じます。

推進リーダー取得は、皆さんのつながりを広げ、たくさんの方を元気にするためのきっかけになると思います。



松江市：松江市地域ケア会議マニュアルと共に

所属：雲南市社会福祉協議会

島根県理学療法士会中央ブロック 地域支援グループリーダー

介護予防推進リーダー **石橋敬太** 氏

雲南市では「うなんん幸雲体操」が介護予防活動として普及しており、平成30年度より私も関わらせて頂いています。普及活動や実際の体操指導を通して地域の方々の活動に対するやる気を強く感じるようになり、その気持ちに少しでも応えたいと思い推進リーダー研修を受講しました。地域に暮らす方々だけでなく、市の担当者や地域運動指導員（体操グループの代表者）など多くの人と協働して、より地域に定着する活動になるようお手伝いをしていきたいと思えます。



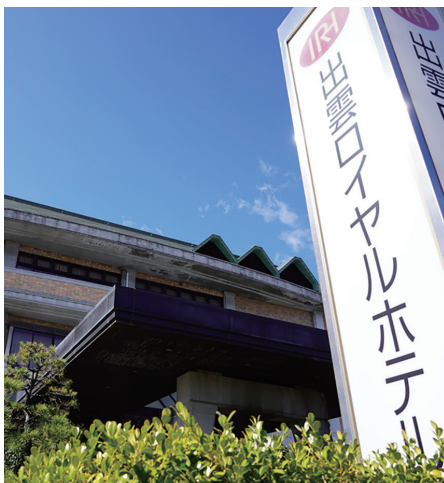
雲南市：通いの場での体操指導の様子

# 島根県理学療法士会 設立50周年・法人化10周年 記念式典 開催

設立 50 周年・法人化 10 周年を迎えるにあたり、2022 年 10 月 29 日に、県内外から多くの来賓をお招きし、記念式典を出雲ロイヤルホテルにて開催いたしました。

1972 年に 13 名で設立された当会も、50 年の時を経て、およそ 750 名の会へと発展を遂げてきました。

参議院議員 三浦靖様、島根県知事 丸山達也様、日本理学療法士協会会長 斎藤秀之様、中国ブロック理学療法士会代表士会長 國安勝司様からはご祝辞も賜り、これまでの我々の活動に対してお褒めの言葉をいただきました。このような理学療法士像を築いてこられたすべての皆様、関係者様に心から感謝申し上げます。



## ご来賓の皆様

衆議院議員 細田博之様  
代理 秘書 津川幸治様

衆議院議員 高見康裕様  
代理 秘書 曾田昇様

参議院議員 青木一彦様  
代理 秘書 小塚昭郎様

参議院議員 舞立昇治様  
代理 秘書 堀博之様

参議院議員 三浦靖様

島根県知事 丸山達也様

島根県議会議員 田中明美様

出雲市長 飯塚俊之様

出雲市市議会議員 萬代輝正様

日本理学療法士協会 会長 斎藤秀之様

島根県歯科医師会 会長 内田朋良様  
代理 専務理事 松浦良二様

島根県訪問看護ステーション協会

島根県老人保健施設協会 会長 櫻井照久様

島根県スポーツ協会 理事長 田部長右衛門様  
代理 専務理事 安井克久様

島根県診療放射線技師会 会長 山田正雄様

島根県臨床検査技師会 会長 領家敬子様

島根県作業療法士会 会長 小林央様

山陰言語聴覚士協会

島根県言語聴覚士会 会長 門脇康浩様

島根県老人福祉施設協議会 原成充様

島根県介護支援専門員協会 理事長 石飛智朗様

島根県歯科衛生士会 会長 安部美智野様  
代理 曾田裕子様

岡山県理学療法士会 会長 國安勝司様

広島県理学療法士会 会長 甲田宗嗣様

鳥取県理学療法士会 会長 三谷菅雄様

山口県理学療法士会 会長 宮野清孝様  
代理 副会長 綿谷昌明様

松江総合医療専門学校 学校長 松浦昌代様

出雲医療看護専門学校 学校長 橋本勝信様  
代理 理学療法学科科長 高田秀志様

島根リハビリテーション学院 学院長 谷河精規様  
代理 理学療法学科主任 橋村康二様



また、記念式典では、これまで島根県理学療法士会に役員として多大にご尽力いただいた功績に対し、7名の方々を表彰させていただきました。

以下、表彰された方々です。

錦織 清 様	元会長 (1984-1994 年)	陶山 敏夫 様	元事務局長
戸山 茂 様	元会長 (1994-2002 年)	田中 美能留 様	元事務局長
岩田 章史 様	元会長 (2003-2010 年)	戸山 香寿美 様	元理事
佐々木 一郎 様	元会長 (2011-2012 年)		



このような節目の記念式典を行うことで、これまでの50年を振り返ることができるとともに、これからの50年を考える機会にもなりました。

当会が掲げたミッション・10年ビジョンを達成していくために、会員ひとりひとりがチャレンジしていく必要があります。

ともに学び、ともに成長し合う。

そして、一緒に、あなたの大切を彩りましょう。

今までも、これからも。

当日の様子は、記念式典専用特設ページに掲載しておりますので、皆様もぜひごらんになってください (QRコード参照)。



## [ 編集後記 ]

「島根県理学療法士会のつながりをより深めたい」という思いから2019年に県士会ニュースをリニューアルいたしました。会員向けの冊子「SPiriT（スピリット）」はラテン語で「魂」「勇気」「活気」の他に「呼吸」「息」という由来を持つ言葉であります。会員の息遣いを感じ、勇気や活気が湧くような冊子にしたいという願いを込めて名付けました。

新型コロナウイルスの影響で、長く対面での研修が行えていませんでしたが、2022年度に入り、島根県理学療法士学会や様々な研修会が、少しずつ対面で行えるようになってきました。

直接時間をともにして対話することの喜びを感じています。

オンラインにも慣れてしまったこの頃ですが、島根県内でも様々な研修が企画されていますので、ぜひ現地で顔を合わせる機会を持ちましょう。

本年度は士会設立50年の節目の年でした。

皆様はどんな1年になっているでしょうか。

本冊子が、会員の皆様にとって、有益でつながりを感じていただけると幸いです。

SPiriT編集 石田修平

## [ ご協力をお願い ]

- ・県士会の“つながり”を作っていくためにも、原稿依頼をさせていただくこともございます。ご協力をお願いいたします。
- ・このような内容でまとめて欲しいなどご要望がございましたら、お問い合わせ先までご連絡ください。



島根県理学療法士会  
ホームページ



島根県理学療法士会  
Facebook



島根県理学療法士会  
Instagram

## お問い合わせ先

〒693-8501 島根県出雲市塩冶町 89 - 1  
島根大学医学部附属病院 リハビリテーション部  
島根県理学療法士会 広報部 松本拓也  
メール：spta.information@gmail.com